

みやづ食育通信

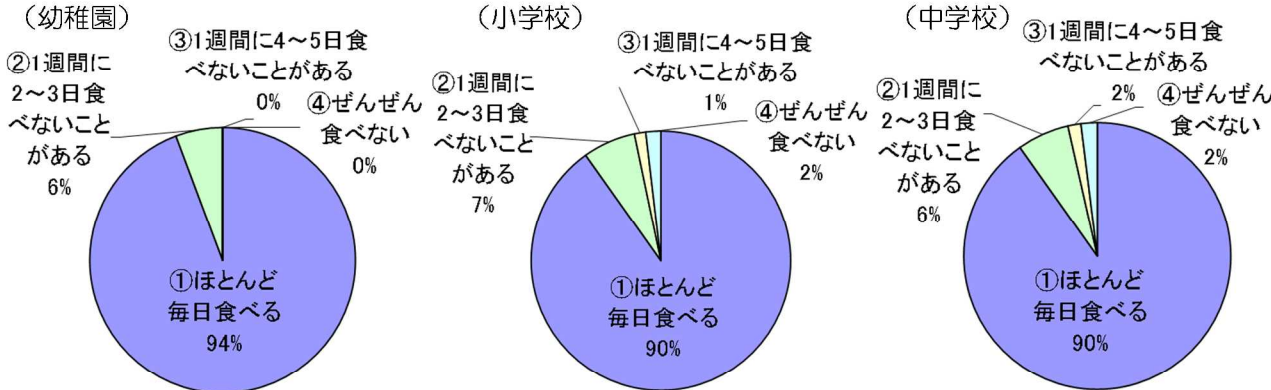


令和4年11月
宮津市学校給食委員会
献立作成部会

宮津市内の幼稚園・小中学校で毎年実施しています「食生活実態調査」について、その結果を抜粋してお知らせします。食事は体を作るだけでなく、心の成長にも関わっており、生涯にわたって健全な心と身体を育み、生活習慣の基礎となるものです。食生活を見直し、生活習慣の土台を作りましょう。
(幼稚園については保護者回答、小学校・中学校について子どもの回答となっております。)

令和4年度「食生活実態調査」結果

●毎日、朝ごはんを食べますか？



宮津市の幼小中の子どもたちの9割以上が毎日朝ごはんを食べる習慣が身についています。全国値と比較しても、同等程度やそれを上回る数値となっています。しかし、幼稚園児・小学生については、朝食欠食者が昨年度よりも少し増えている状況です。

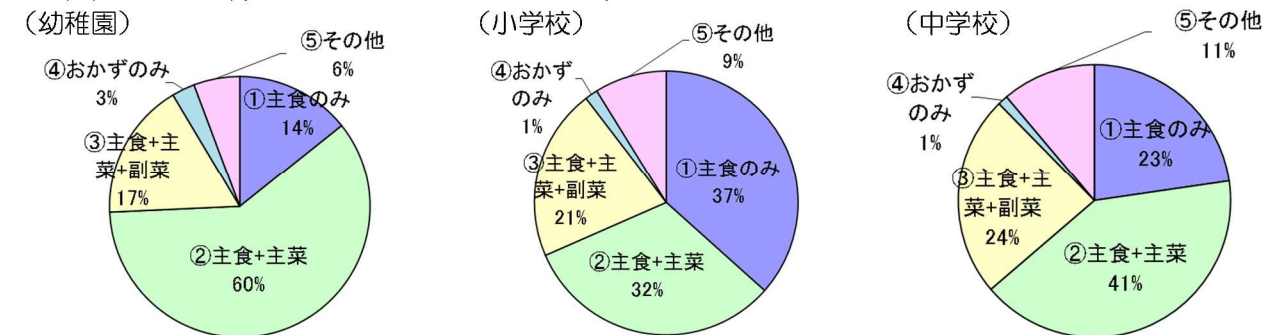
朝食の喫食状況

項目	幼稚園			小学生			中学生		
	R4	R3	全国※1	R4	R3	全国※2	R4	R3	全国※2
①毎日食べる	94%	97%	95%	90%	94%	87%	90%	87%	82%
②週に2~3日食べない日がある	6%	3%	4%	7%	4%	9%	6%	8%	11%
③週に4~5日食べない日がある	0%	0%	1%	1%	1%	4%	2%	2%	5%
④ほとんど食べない	0%	0%	0%	2%	1%	1%	2%	3%	2%

※1 平成22年度 幼児健康度に関する継続的比較研究

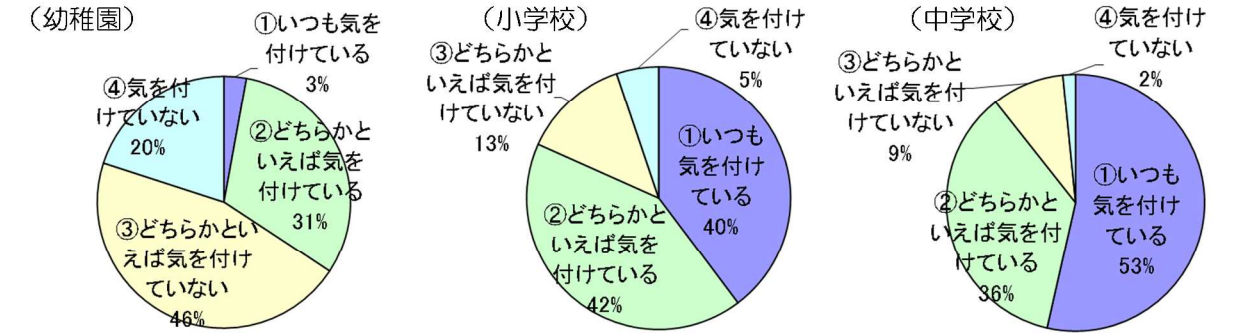
※2 令和3年度全国学力・学習状況調査結果

●普段食べている朝ごはんが一番近いのはどれですか？



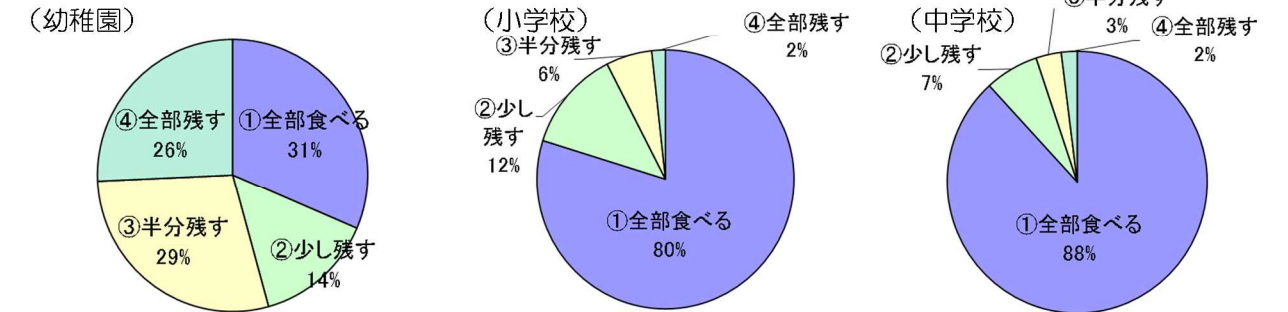
主食、主菜、副菜が揃った朝ごはんを食べている子どもの割合が、中学校に進むにつれて高くなっています。しかし、主食のみの割合が小学生に多いという実態がありました。成長期の今、何を食べるべきかを様々な教育活動を通じて今後も啓発していきたいと思っております。

●食事マナーに気を付けて食べていますか？



中学校に進むにつれて、食事マナーに気を付けている子どもの割合が高くなっています(小学生約8割、中学校約9割)。家庭と学校(園)での食育を通じて、生産者さんや調理員さんへの感謝の気持ちを抱き、その気持ちを食事マナーとして表現できる子どもに育てていると考えられます。

●給食に嫌いなものが出たらどうしますか？



給食に嫌いなものが出て、全部食べると答えた子どもの割合が、中学校に進むにつれて高くなっています。活動量が増えていることに加え、幼稚園、小学校、中学校での食育活動を通じて、給食に自分たちに必要なエネルギーや栄養が含まれており、それを食べることで強い心や体を育むことを理解する子どもが増えていると考えられます。また、給食が好きと答える子どもが幼稚園で8割以上、小学校・中学校で9割以上とその関心の高さが伺えます。

★宮津市の食育★



幼稚園でも栄養教諭による食育授業を実施！



栄養教諭による「給食」をテーマとした食育授業(小学校)



栄養教諭による「食事とスポーツ」をテーマとした食育授業(中学校)



調理場と教室をつないだリモート授業(小・中学校)



毎月19日前後の「みやづ食の日動画」の視聴！新たな取組です！(幼稚園、小・中学校)



栗田漁業生産組合がとって、海洋高校生がさばいた魚を給食で利用し、当日高校生とのリモート交流を実施(小・中学校)

宮津市では、今後も「食育活動」を通じて子どもたちの心身の成長をサポートしていきます！